

2021年10月15日

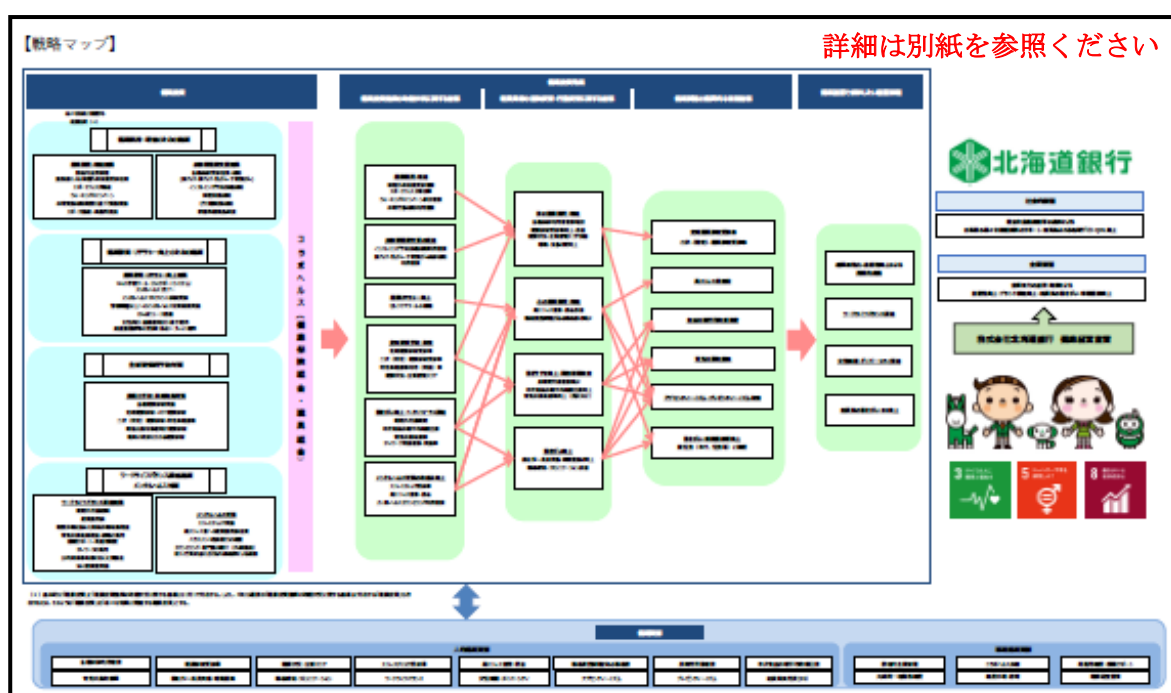
各位

株式会社 北海道銀行

健康経営への取り組みに係る「戦略マップ」の策定について

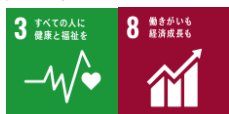
北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、2021年10月15日に健康経営への取り組みに係る「戦略マップ」を策定しましたのでお知らせいたします。

「戦略マップ」とは、企業等における健康経営の取り組みを促進するために、経済産業省が策定した「健康投資管理会計ガイドライン」に基づく健康経営戦略を見える化したものです。経営課題の解決につながる健康課題や、健康の保持・増進に関する取り組みなどを「見える化」することによって、健康経営をより継続的かつ効果的に実施し、各種指標などを従業員や求職者、関係企業などに示すことで、自社の理解を深めてもらうことを目的としています。



当行では、「健康経営宣言」を2017年12月4日付制定および2020年7月10日付改訂し、頭取を健康管理責任者として、職員の健康保持・増進に繋げる諸施策に取り組んでおります。その結果、健康経営の顕彰制度「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を4年連続受けております。今後も引き続き、企業の持続的な成長の実現には職員の心身の健康が不可欠であるとの見地に立ち、健康保険組合などと連携して、職員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、組織全体の更なる活性化の実現を目指してまいります。

〈該当するSDGsの目標〉



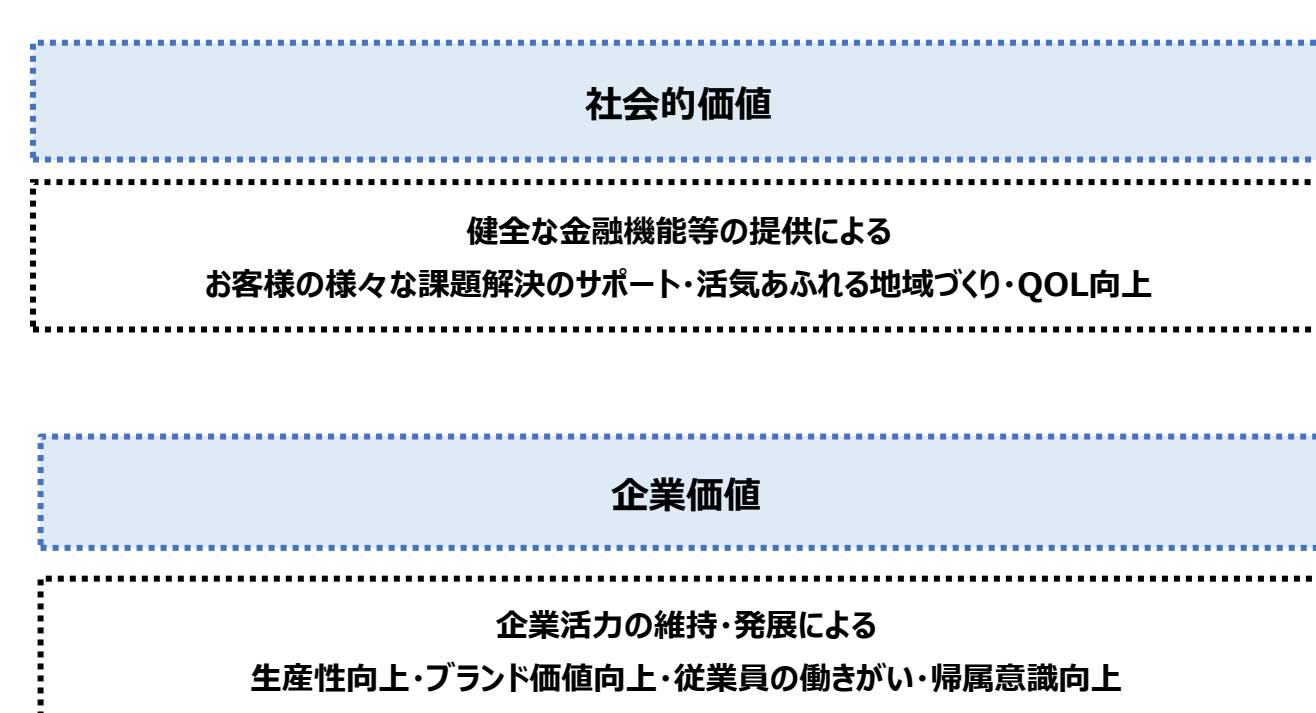
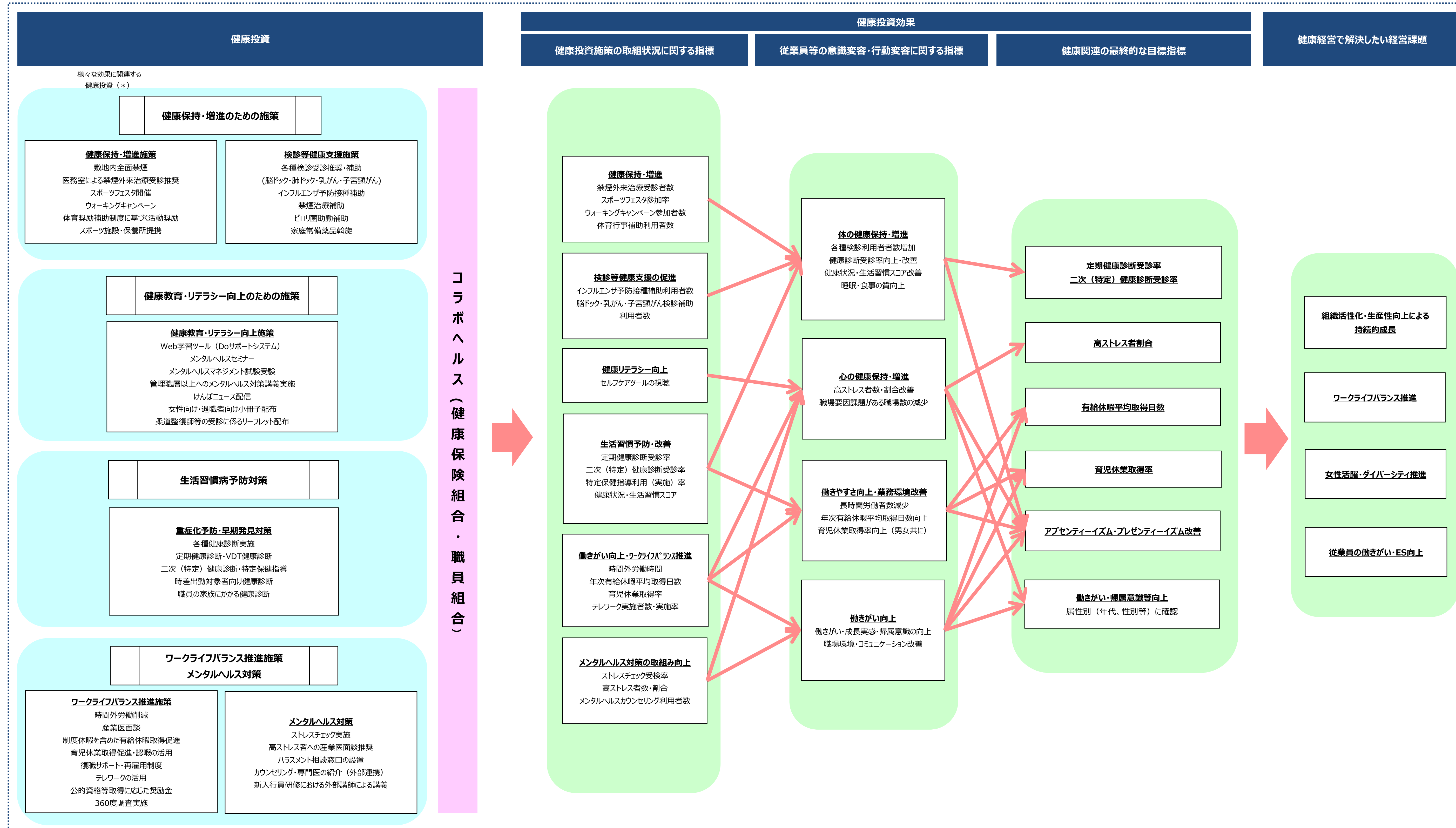
SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

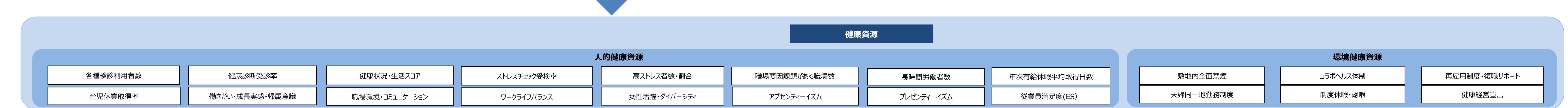
＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道銀行 人事部 島田・小野寺 TEL 011-231-3022
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005

【戦略マップ】



(*) 基本的に「健康投資」と「健康投資効果の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資効果の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。



【各種指標について】

(1) 健康指標

項目	2019年度	2020年度
① 定期健康診断受診率	100.0%	100.0%
② 二次健康診断（精密検査）受診率	72.2%	78.0%
③ 特定健康診査受診率	90.2%	90.2%
④ 特定保健指導実施率	40.0%	43.3%
⑤ 喫煙率	26.3%	23.1%
⑥ 適正体重維持者率	65.6%	64.5%
⑦ ストレスチェック受検率	99.1%	99.7%

※ ①～⑥の対象者：子会社の北海道銀行健康保険組合被保険者を含む

(2) その他指標

項目	2019年度	2020年度
① 平均月間法定外労働時間（一人あたり）	5時間23分	6時間15分
② 年次有給休暇平均取得日数（一人あたり）	12.4日	13.1日
③ 育児休業取得率（男性）	83.7%	95.7%
④ 育児休業取得率（女性）	97.5%	100.0%
⑤ 平均勤続年数	15.4年	15.5年
⑥ ウォーキングキャンペーン参加者数	392人	1,135人
⑦ 働きがい（ワークエンゲイジメント）の状況	59.6%	63.3%
⑧ ストレスチェック高ストレス者割合	6.6%	6.0%

※ ①の対象者：管理監督者を除く

※ ⑥は北海道銀行職員組合との共催（協賛：北海道銀行健康保険組合）

※ ⑦は得点率（45点満点を100%とした場合）